



2009-2010年度

# CHIBA HIGASHI ROTARY CLUB

## Weekly Report

会長 池田 銀藏 幹事 野嶋 浩一



国際ロータリー会長 ジョン・ケニー  
第2790地区ガバナー 中村 博巨  
第3分区Aガバナー補佐 藤原 勝己

### 第819回 2009年7月23日(木)

#### 本日のお客様

国際ロータリー第2790地区

ガバナー 中村 博巨 様

第3分区Aガバナー補佐 藤原 勝己 様



中村ガバナーと藤原ガバナー補佐



千葉若潮 RC 佐藤会長と千葉東 RC 池田会長

#### 会長挨拶

池田 銀藏 会長

大変お忙しい中、中村ガバナー、藤原ガバナー補佐  
本日は、宜しくお願い致します。

地区のテーマ「恕(おもいやり)」、何事も常に相手の  
立場になって行う、おもいやりの心が大切との事で本  
日もおもいやりの心で宜しくお願い申し上げます。

#### 【ガバナー補佐ご挨拶】

国際ロータリー第2790地区第3分区A

ガバナー補佐 藤原 勝己様



皆さんこんばんは。補佐の藤原勝己です。

昨日は46年ぶりの皆既日食ということで皆さん盛り  
上がられたと思うのですが、いかがでしたでしょうか。  
雨と曇りであいにくでしたけれど、また26年後にチ  
ャンスがあるのではないかということで楽しみにして  
いただきたいと思います。

新しい時代に向かって多様な事柄を是とするロータ  
リーでございますが、中村ガバナーはその可能性に向  
かっているいろいろ探究されておられます。その活力の元  
は、毎朝3時に起床されまして体力づくり、勉強され  
ていられるというふうにおっしゃっておられます。

これから皆さんの前で示唆に富んだお話をされるのではないかと思いますのでどうかご期待をよろしく願います。

### 【ガバナー卓話】

国際ロータリー第 2790 地区

ガバナー 中村 博巨様



皆さんこんばんは。今ご紹介いただきました 2790 地区ガバナーでございます。

今日は藤原ガバナー補佐とともに、皆さんのクラブに訪問することができまして、先ほどまで佐藤会長、池田会長をまじえ懇談会をし、皆さん方若いクラブの良さを改めて知ったような次第です。皆さん、本当にいきいきしておられまして嬉しく思います。

ロータリーRI 会長のジョン・ケニーさんは「ロータリーの未来はあなたの手の中に」というテーマをあげられました。ロータリーは長い鎖のようなもので、それをつなぐ輪のひとつひとつが皆さんである、そして毎日の皆さんの努力がこれからのロータリーの未来をつくっていくのだとおっしゃってありました。

ロータリーは常に変化をしております。今まさに変革の時代と言われておりますが、ロータリーも同じです。ロータリーの創始者ポール・ハリスが常に変革に対応できるようなロータリーでなければいけないのだと言っていたように、ロータリークラブの物語は幾度も幾度も書き換えられなければならないのだと思われております。

考えてみますと、1905 年にロータリーがポール・ハリス他 3 名によってつくられたとき、最初のシカゴクラブの定款にはロータリーとはお互いに助け合ってお金儲けしましょうと書いてあるんですね。そしてもうひとつは親睦をはかってお金儲けをしましょうと書かれています。

皆さんよくご存じのロータリーの三賢人の一人であ

りますシェルドンが『He Profits Most Who Serves Best』「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というこの有名な標語をつくったわけですが、この標語ははじめ、『his fellow』「仲間をたいして」という言葉が入っていました。ロータリーはお互いに助け合ってお金儲けしよう、仲良くしていこうというところからスタートしているのです。

ただし、2 年目か 3 年目にカーターという方が入り、これではロータリーは長続きしない、公共のために、人々のために何かをしなければただの仲良しクラブで終わってしまうということで、そこに社会奉仕という考え方を取り入れたのです。

そして最初の奉仕がシカゴの市役所前に公衆便所を作ったことだと言われております。その当時の人はどこでトイレをしていたのかと調べてみましたが、当時はシカゴに 300 以上のパブがあったそうですね。男性はパブを使い、女性は百貨店を使ったそうです。シカゴロータリークラブが公衆便所を作りたいし、パブ組合、百貨店組合が自分たちのところにお客がなくなると、ものすごい反対があったそうです。

1910 年代になりますと、社会奉仕がそれとも職業奉仕かと大変な議論がされまして、1923 年の決議 34 号、国際大会のいわゆる 23 - 34、社会奉仕の指針が出され、それがあの有名な超我の奉仕の哲学です。これはロータリーにとっては本当に大切な、ロータリーのまさに奉仕の原点であり、ここからアイサーブがスタートしているわけです。

1920 年代、これをもとにしてクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕が確立されております。そして現在まで約 80 年、この四つの委員会がずっと続いてきました。その間にロータリーは奉仕の方向性がずいぶん変わってきました。クラブ単位の奉仕だったものが、だんだんと地区の奉仕となり、そしてロータリー全体の奉仕となってきます。

1947 年に教育的プログラムが取り入れられ、国際親善奨学生がはじまります。ご存じのように緒方貞子さん、また、この地区からでておられる宇宙飛行士の山崎 直子さんもそうですね。

65 年あたりからは、人道的プログラムが取り入れられ、このプログラムを利用する方が増えてきました。人道的プログラムの大きなものとして、1978、9 年に 3-H プログラムがつけられます。その中の Health の部分がフィリピンの子供たちにポリオのワクチンを提供したことです。これはポリオ予防にとっても効果があ

ったそうです。RIはこれをロータリーの第一のプログラムとしてとりあげ、1985年からスタートしています。このように最初はアイサーブとなっていますが、ウィサーブに変わってきています。

そういう中で世界中のロータリアンの意見を聞き、それを絞りに絞って7つにしたのが活動計画書に載っております、ロータリーの長期計画なのです。長期計画ひとつひとつを見ますと、我々がずっと大切にしてきました奉仕の理念と相反するものがたくさんあります。

RIの理事19名の中にはアメリカの理事が6,7人、日本の理事は1人おります。一昨年は2人いました。日本のロータリアンが1996年時の13万人台から、2009年では9万人台に激減したためです。数が減るということは、ゾーンを減らすということになり、この年度から3ゾーンに減りました。3ゾーンならば毎年1人理事が出せるのですが、2ゾーンになると毎年出せなくなってしまいます。そのように会員増強がいかに大切かわかりになるかと思えます。

理事の間、特にアメリカで23-34が邪魔になるという意見がありました。ここに書いてある長期計画はほとんど23-34に矛盾していたため、RI理事がこれをヒストリ化ドキュメントとしてお蔵入りさせようとしたのです。その頃の日本の2人の理事が猛反対し、かろうじてこれを残すことができました。そのいきさつは昨年のロータリーの友をお読みになるとよくわかると思います。

私も23-34は大切にしたいと思えますし、ヒストリ化ドキュメントにならなくてよかったと思えます。ただ、アメリカの理事が言うように、奉仕をしようとすれば23-34が邪魔になってしまいます。RIの方針は2017年までにロータリーは世界一の奉仕団体になると明記しております。

今までロータリーの広報活動は、それほどやってはいけない、自分たちがやったことを公表しないと書いてあります。自分たちが提唱してプログラムをはじめ、それを他の団体と一緒にいき、成功したらロータリーはそっと身を引いて他の団体にその功績を譲りなさいというようになっているのです。それがロータリーの良さだったのです。

ところがRIが新しく言っていることは逆なのです。どんどん自分たちをPRしなさい、世界中にロータリーを認めてもらいましょう、世界一の奉仕団体になりましょうということを文書に書いております。日本の

ロータリアンがCLPに抵抗をしている所以はその辺にあるのです。

極端に言いますと、私どもはよく全国いろいろな会に呼ばれていきますが、その中にはそれならば日本独自のロータリーを作ろうじゃないかとおっしゃる方もいらっしゃいます。

それほど日本の主張は通らなかったのです。理事者の数が全然違うのだからとおっしゃられていたのですが、まさにそのとおりなのです。私どもは変えていかなければならない、RIで決まったことは従うしかないのだと思っています。というのは、私自身ガバナーエレクトの研修会やアメリカのサンディエゴで国際競技会に出ますが、全部DLPとCLPなのです。その内容で勉強するのは、その勉強したものを皆さんに伝えることがガバナーの務めなのです。

現実に日本のロータリークラブは衰退してきています。地区も一番多かったころは4400くらいの会員がいましたが、今は2900も危なくなってきました。私はなんとしてでも3000まで戻したいと思っておりますがかなり難しいと思っております。けれど、やらなければならない。変えていかなければならないと私はそう思っております。

そのためには皆さんひとりひとりの力が必要なのです。ロータリーはまさにひとりひとりがアイサーブなのです。ロータリーの主役はひとりひとりのロータリアンなのです。

そして我々が努力することによって、新しいロータリーが生まれていき、また50年100年と奉仕の理想は続いていくものだと思っております。

今一番厳しい時期に入っております。しかし私は今日安心しました。こんな若い方、若いクラブに来ることができて私自身も皆さんから活力をいただきましたし、これから皆さんと一緒に新しいクラブを、新しい地区を、新しいロータリーをつくっていきましょう。どうか皆さん、一緒にまずCLPに挑戦してください。CLPは何も難しいことではありません。はっきり言います。内容はほとんど変わりませぬ。ただ、委員会の構成がかわったのです。看板がちょっと書き換えられただけなのです。

どうか新しい名前に、新しい委員会構成で、新しい活力でまたこの地区のために、クラブのために頑張っていくではありませんか。どうか皆さんわたしに力を貸してください。今日はありがとうございました。

## 幹事報告

### 野嶋 浩一 幹事

皆さん、こんばんは。

それでは、幹事報告をさせていただきます。

本日は、2点ございます。

千葉西 RC より「納涼家族例会」開催のご案内がきております。8月1日(土)点鐘 18:30 受付は 18:00 となり場所はセンシティタワー23階「東天紅」、会費は¥10,000-です。ご出席される方は、事務局まで、お申し出下さい。尚、締切が明日、24日ですので、よろしくお願い致します。

次回 27 日の例会は、各委員会新年度活動方針について発表がありますので、各委員長はよろしくお願い致します。



## ニコニコBOX

吉見会員 第 2790 地区ガバナー中村博巨様 これから一年目標に向かって頑張ってください。

吉田会員 中村ガバナー、藤原ガバナー補佐、若潮 RC の皆様 本日はありがとうございました。

中村博巨ガバナーからも頂きました。

20,000円

**累計 ¥14,9000円**

## 820回の例会プログラム

2009年7月27日(月)

各委員会より新年度方針

発行 千葉東ロータリークラブ 会報委員長 山本 成人 作成者 山本 成人

創立：1991年1月21日 認証：1991年3月6日 例会場：ホテルニューオータニ幕張 点鐘：毎月曜日 18:30

事務局：千葉市稲毛区穴川 3-5-27 上総ビル 303 TEL 043(251)2790 FAX 043(251)2726

HP <http://www.chiba-higashi.jp/>

Email [chiba-higashi\\_rc@jazz.odn.ne.jp](mailto:chiba-higashi_rc@jazz.odn.ne.jp)